



# もんぜんろくちょう

タイトルの3つの色は、鬼すべの際の警固・鬼係・燻手の法被の色をイメージしたものです。

## 歴史的風致維持向上計画

平成 20 年 5 月に「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」（以下、「歴史まちづくり法」）が制定されました。歴史まちづくり法は、「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境」を「歴史的風致」と定義し、その維持及び向上を図ることを目的としています。この歴史まちづくり法に基づき、太宰府市は「太宰府市歴史的風致維持向上計画」（以下、「向上計画」）を作成し、平成 22 年 11 月に国から認定を受けました。「向上計画」では、市内に「重点区域」を設け、史跡を中心とする地域と太宰府天満宮の門前町を含めた区域が対象となっ

ております。このうち太宰府天満宮の門前町には、歴史的な建造物と祭事や習慣などの活動が相まった次のような『歴史的風致』が形成されています。

## 事業概要

### ①協議会活動助成事業

「まちづくり」を推進する協議会への運営費助成をします

### ②歴史的風致形成建造物整備事業

認定形成建造物の修理に対して助成を行います

### ③修景施設整備事業

歴史的風致形成建造物と共に街なみを形成するための修景基準を策定し、良好な街なみを形成するための制度づくりを行います

門前町では、これらの歴史的風致を維持し、まちを活性化していくための事業が展開されます。



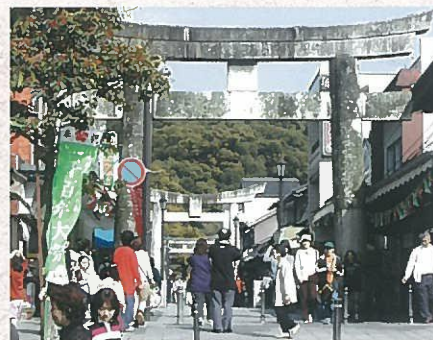
太宰府天満宮門前の生活にみる歴史的風致

江戸時代から残る歴史的建造物、名物の梅ヶ枝餅でもてなす土産物店、恵比寿まつり、鬼すべなどが伝統的生活として受継がれています。



太宰府天満宮神幸式における歴史的風致

平安時代から続く神幸式行事は、古代の街路と菅原道真の配所である榎社を舞台に繰り広げられます。県指定の無形文化財です。



さいふまいりにおける歴史的風致

さいふまいりは、江戸時代に盛んになり天満宮参詣と名所旧跡を訪ねる風習で、現在でも伝統が残っています。

#### ④道路美装化事業

門前の骨格となる道路などの街なみに配慮した舗装及び整備を行います。

#### ⑤小公園整備事業

歴史的建造物や道路の沿道で歴史的な由緒、伝説等と関連のある場所等を公園として整備します。

#### ⑥生活環境施設整備事業

歴史的建造物の有効活用を実施するため、歴史的風致形成建造物指定を行い、地域住民が歴史まちづくりの活動拠点として活用できる施設の整備を行います。

## 太宰府天満宮 門前六町まちづくり協議会の発足

『太宰府天満宮門前六町まちづくり協議会』（以下「門前まちづくり協議会」）は、「歴史的風致維持向上計画」に基づき「街なみ環境整備事業」による「協議会活動助成事業」として、太宰府市より運営費助成を受け発足しました。

活動の内容は、門前町の歴史的風致の維持向上を図り、歴史的市街地の形成や生活環境の向上、地域の活性化などを目指して、それぞれの地域からの意見を集約して、まちづくりの方針を検討し行政と協働で住み良い環境、憩えるまちを創り出していくための協議会です。

- ①歴史まちづくりに関する勉強会
- ②まちづくりニュースの作成など活動内容のPR
- ③門前町で実施する歴史まちづくり事業に関する検討
- ④歴史的まちなみを維持形成するための地区ルール（建物の高さや色彩など）の検討
- ⑤住宅の修景基準の検討

が主な活動内容です。

## 活動内容

### 1. 設立総会

期 日 平成 24 年 7 月 13 日(金)

会 場 太宰府館

議 題 設立会議

- 1) 協議会規約案の審議
- 2) 協議会役員を選出



### 総会

- 1) 事業地範囲の承認
- 2) 平成 24 年度事業案
- 3) 平成 24 年度予算案
- 4) 部会の設置について

「門前まちづくり協議会」は、現在のところ太宰府天満宮の門前町である三条区・連歌屋区・馬場区・大町区・新町区・五条区の自治会長より推薦を受けた、各自治会から 2 名ずつの会員（総数 12 名）により構成されます。当日は、6 議案について審議しました。

### ■ 設立会議

#### 1) 協議会規約案の審議

規約案については、協議会の目的を了承をしたうえで原案通り承認されました。

#### 2) 協議会役員を選出

協議会の役員は、規約に基づき会長・副会長・監事の三役を選出しました。会長には木村敏美氏（新町区）、副会長に中村 惇氏（連歌屋区）、監事に日高 一氏（大町区）を選出しました。

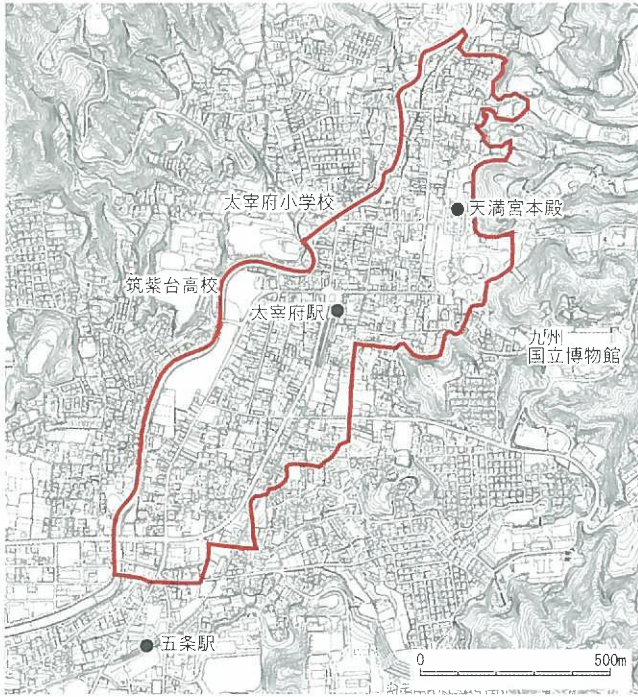
また設立会議において、規約第 3 条（会員）に基づき、太宰府市役所より入会の申し出があり、全会一致で承認し、さらに当面の間「門前まちづくり協議会」の事務局を太宰府市役所都市整備課に置くことを決定しました。

設立会議終了後、平成 24 年度の総会が開催され、4 議案について審議を行いました。

### ■ 総 会

#### 1) 事業地の範囲の承認

門前町の区域は、昭和 40 年代以降に住宅団地の開発に伴い、三条区・連歌屋区・馬場区・五条区は、区域が大規模に拡大しました。今回は、旧来の門前の範囲を前提とし、昭和 30 年代の門前町の範囲を目標としました。



門前町の範囲

## 2)平成 24 年度事業案

平成 24 年度は、7 月の総会で多くの事業は見込めませんでした。①総会、②事業地視察、③学習会、④部会の設置、⑤先進地視察、⑥広報誌の発行の 6 事業の実施を決定しました。

## 3)平成 24 年度予算案

収入については、市より「太宰府市街なみ環境整備協議会活動助成金交付規則」に基づき、400,000 円の助成金の交付を受けています。

## 4)部会の設置

部会の設置については、同一事業においても地域の状況が異なることがあると思われるので、それぞれの部会を設置し、担当者を決定しました。部会は①「(仮称)参道部会」②「(仮称)小鳥居小路溝尻部会」③広報誌発行部会の 3 部会を設置しました。今後、検討課題を精査し①②の部会は、部会の会員をそれぞれの地域の住民から選任する予定にしています。③の部会については現会員より数名選任し、当広報誌の編集等を行い、皆様のお手元へ配布したところです。

## 2. 先進地視察研修

期 日 平成 24 年 11 月 2 日(金)

目的地 福津市「津屋崎千軒」

会 場 まちおこしセンター「なごみ」

内 容 地元協議会と交流・視察

「津屋崎千軒」は、福津市の北、旧津屋崎町の津屋崎漁港のすぐそばにあります。江戸時代の初めに交易港として発展し、塩田による塩作りや酒造り、廻船問屋などもでき、全国から海産物や日用品などが荷揚げされ、周辺には大集落が形成され、大変賑わったそうです。その後明治の半ば以降、鉄道の普及と塩田の廃止により、賑わいはなくなりましたが、明治以降の古い建築物や商店が多く残っており、当時の町並みの面影を十分残しているところです。また、江戸時代に始まった「津屋崎祇園山笠」も昭和 50 年に再復興し、町並みを活性化しているところです。



今回は、古建築をどのように遺され、活かされているのか、さらに地域の民間まちづくり協議会がどのような活動を行っているのかを視察し意見交換を行いました。

福津市は、「津屋崎千軒」の町並みにおける事業として、下記の事業が進められています。

民間のまちづくり協議会は、大小多く設立されているようですが、特に「津屋崎地域郷づくり推進協議会」「津屋崎千軒海とまちなみの会」「藍の家保存会」3つの協議会の代表者と意見交換ができました。

### 福津市の事業

- 「津屋崎祇園山笠」催行される道路の美装化を平成 17 年度から同 24 年度まで実施。
- 「古民家」を買収・修復し、活用できる団体を公募し、貸出しを行い、町並みの活性化を促進している。  
ここで特に感心することは、古建築の所有者が独自で修理し、町並みの景観を維持されていることです。
- 「景観計画」を策定中。



#### ■ 津屋崎地域郷づくり推進協議会

「津屋崎地域郷づくり推進協議会」は、5つの部会で構成され、「活性化部会」においては、新住民に対する「山笠」への参加者の掘り起こしとして体験活動の実施などが行われています。また「酒蔵」を利用したコンサートや映画祭、「まちおこしセンター『なごみ』」における地元農産物の販売等も実施しています。

#### ■ 津屋崎地域郷づくり推進協議会

「津屋崎千軒海とまちなみの会」は、平成19年から地域コミュニティを基本にボランティアで「津屋崎千軒」のまちおこし活動を実施している団体です。活動例としては、散策地図の作成や講演会の開催など数多くの活動実績があり、その業績は種々表彰の栄誉を受けています。

#### ■ 藍の家保存会

「藍の家保存会」は、平成4年「藍の家」の解体問題が設立の発端です。その後建物の寄贈や用地の公有化を受けて、保存会が市と委託契約を締結して管理運営を行っています。平成19年に国の「登録有形文化財」に指定され、地域のサークル活動の練習会場として利用されている。

諸協議会の課題は、

- ・会員の高齢化に伴う新会員の勧誘。
- ・「津屋崎ランチ」という若い人の集まりの会との連携による後継者の育成を進められています。

意見交換を終了後、「津屋崎千軒海とまちなみの会」の会長吉村勝利氏の案内で「貝寄せ館」の展示、大正期の間口が狭く、奥行の深い建物構造を持つ上田製菓店、津屋崎土人形の工房、「古民家」「豊村酒造」「藍の家」等を視察しました。

### 3. 学習会(第1回)

期 日 平成24年12月5日(水)

会 場 現地・太宰府館

内 容 事業地の視察及び事業概要

現地は、幸ノ元井堰跡及び取水口、水路に沿って散策路、小鳥居小路溝尻水路、小田家住宅、高田家住宅(甘木屋)、光明寺土塀を徒歩で視察しました。

視察後、「門前まちづくり協議会」が実施する協議内容について市より提案がありました。

#### 《提案内容》

①幸ノ元溝尻水路整備…平成19年の豪雨により井堰が流失し、現在は三条区の「あいさつ通り」に沿う一部の区間にのみポンプアップし流水を確保しているところです。提案は、幸ノ元取水口で御笠川から自然取水して、馬場区溝尻の藍染川まで通水できないか？さらに小鳥居小路水路が暗渠化され、存在すら知らない住民もいることから、通水にともなって目に見えるようにできないか？というものでした。



### 4. 学習会(第2回)

期 日 平成25年3月18日(月)

午後 6時30分～8時30分

会 場 現地・太宰府館

内 容 門前町地域における法的規制について学習会を行いました。

## もんぜんろくちょう 創刊号

編集・発行 太宰府天満宮 門前六町まちづくり協議会  
 発 行 平成25年3月31日  
 印 刷 (有) システム・レコ